

知事と区市町村長との意見交換（江戸川区）

令和1年10月29日（火）

14時20分～14時40分

○**行政部長** それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** 本日、都庁までお越しくださしまして、ありがとうございます。基本的に都としての長期戦略を描くにあたりまして、江戸川区様の御意見をということでございますが、まずその前に、今回は台風が相次いで訪れて、江戸川区は「ここにはいけない」ということで、これまでも住民の方々に周知徹底をされてこられたことかと思えます。43万人に避難勧告をされたということでございました。そういったことも長期に考えていくべきことのうち、また緊急に考えなければならないこともあろうかと思えますが、短い時間ではございますが、いろいろ御要望も含めて伺わせていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

○**行政部長** では斉藤区長、よろしくお願い致します。

○**江戸川区長** 本日はお時間をいただきまして、ありがとうございます。江戸川区です。よろしくお願い致します。

まず台風19号の時にいろいろと御心配いただきまして、本当にありがとうございました。そして今日も日程を変えていただきまして、19号の前日だったと思うんですけども、どうもありがとうございます。お時間が限られているということで、早速話に入らせていただきます。

まず私共、今日は3つお話をさせていただければと思っています。それぞれについて、御説明をいたします。

まず葛西臨海公園ですけれども、これは東京都でつくっていただきまして、もう今や江戸川区民にはなくてはならない、大切な公園になっております。先週もラムサール条約の1周年ということで、お世話になりました。

やはり我々区民としてもこの公園を何とか守って、発展をさせていくことができないかと考えております。

そしてまた今回、オリンピックのカヌー・スラロームの会場にもなっているということで、さらに注目が集まってくるのかなと思っています。

そういった中、何とかカヌー・スラローム、オリンピックが終わった後も引き続き、発展をしていくように、使っていただきたいと思います。

リオ、その前が北京ですが、北京ではもう使われなくなっていると聞いております。

やはりそういうふうになってしまうのは、我々としても残念ですので、そこで、競技に使っていない時にプールとして活用させていただくことができないかという御提案です。

観覧席は仮設ということでお伺いしておりますので、終われば、なくなると。その場につくらせていただく。あるいは、全部濾過をしてしまいますと、大変な経費になると伺

っていますので、フィニッシュプールの部分だけ囲って、ここだけでもプールにさせていただくようなことはできないかという、これはお願いと共に、当然やらせていただく場合は我々も一緒に負担をさせていただけないかというふうに考えているところでございます。

続きまして。葛西臨海公園の中には、水族館はございます。ラムサールで鳥は来ています。「あと無いのが動物だけじゃないか」と。我々も一生懸命考えました。江戸川区にも自然動物園がございまして、637頭55種類の動物を飼育していますが、場所をお貸しいただければ、この動物園をそのまま移設させていただくことができないかなと考えているところです。

ポニーなんかもあれば、これはポニーじゃなくても馬でもいいんですけども、そうすれば臨海公園の中、あるいは渚の部分を馬で歩くことなんかもできるんじゃないかなと思っているところであります。これが動物の関係ですね。

さらに、マリンスポーツの部分で葛西臨海公園を活性化できないかということで、シーカヤックができれば素晴らしいなと思っているところでもあります。

江戸川区にカヌー・スラローム競技場をつくっていただきまして、私共も区営ですけれども4つのカヌー場をつくりました。オリンピック会場から1キロぐらいの距離ですので、こことオリンピック会場を繋ぐような形ができれば、そしてシーカヤックなんかもできれば、さらに自然に親しめるのではないのかなと考えているところでございます。

いくつかお話をしましたけれども、なんとか我々としてもこの葛西臨海公園、盛り上げていくことができないかと考えております。隣がディズニーランドです。夢と魔法の王国でございますので、こちらは自然に親しめる、自然の楽園みたいな形で、鳥もいて、動物もいて、魚もいて、ラムサールということでございますので、こういったことができればありがたいなと考えています。

大きな2点目に移ります。共生社会の実現ということで、「どんな方でも」ということになると思うんですけども、一つに障害者スポーツセンターの整備をなんとかやってくればと思っております。

23区の中で今、北区に都立でスポーツセンターがあると思っておりますが、江戸川区民も大分利用させていただいています。

なんとか江戸川区でつくれるか、自分達でなんとかつくりたいなと思っているんですけども、もし御支援等いただくことができればと思っております。つくる以上は、一緒にいろいろ相談をさせていただきながらと思っているところでございます。

次は、ちょっと話が変わります。江戸川区で障害者施設待機者が110人、特別養護老人ホームで800人おります。深刻な問題なんですけど、全国で見れば、障害者の施設も特別養護老人ホームも多数ありますけれども、区では全国の空き状況が分かりません。

であるならばネットで繋いで、全国どこでも自分達の施設がどれぐらい空いているのかというのが分かれば、それを自治体が見ることができれば、本当にスムーズな入所ができますし、施設の方でも空きを減らすことに繋がるんじゃないかと思っているところです。

なかなか一つの自治体で全国のネットを構築するのは難しいと思うので、こういったこ

とも一緒に考えていただければありがたいなと思っています。

3つ目は待機児の対策です。江戸川区ではこの2年間で1,000人ずつ増やしてきて、2,000人ぐらい保育施設の定員を増やしてきました。

一方では、例えば区の職員で言えば、3年間育児休業が取れます。1年以上取っている者が89%います。ただ、民間は1年が原則ということで、1年以上取っている方が半分以下ということを考えれば、育児休業を取れるような環境をなんとかつくっていくことができないかなというのが、このお話です。

今、0歳児、1歳児、2歳児で待機児がいますけれども、保育園における経費を育児休業3年取得のための支援策の構築、具体的には育児休業を取ったら、区の負担分に相当する金額を差し上げる、あるいは半々ずつ事業主に渡す、そういったことで育児休業が区の職員ぐらい取れるようになれば、待機児対策にも十分繋がってくると思いますので、育児休業3年のための支援策の構築を考えていきたいと思っています。

最後です。急に話が変わってすみません。金魚なんです。金魚は、江戸川区の名産と言われて、一時は三大産地とまで言われましたが、実は都内でもう2軒しか養殖業者がない。その2軒が江戸川区においでになります。江戸川区としても、金魚まつりなど、いろいろな形で盛り上げています。

ただ、昭和15年頃は区内で23軒、5,000万匹生産していましたが、もうあと2軒だけです。相続の時に、宅地並み課税になってしまうので、皆さんなかなか相続に踏み切れない。

ですので、せめて農地ぐらいの税制改正ができないか。税制が難しければ、それに準ずる支援策ができないかというような形で、今我々検討していますので、こういったところもお力添えいただくことができればありがたいなと考えているところです。

すみません。駆け足になりましたがお時間いただきましたので、以上です。

○知事 ありがとうございます。まずカヌー・スラロームセンターでございますけれども、非常に出来上がりも素晴らしいものとなりました。都心からのアクセスがいい、ラフティング体験等ができる、一種水上レジャーのメッカになるんじゃないかなと、このように期待をするところであります。

あと、そうですね、今お話あった水流等への安全対策等を考えますと、レジャープールとしての利用は基本的には想定しておりません。

周辺の水族館や公園等とも連携をしまして、利用者の安全性をどうやって確保するかというその課題と、それからあと賑わいのある東京の新たな人気スポットにいかにして出ていくのか等、組み合わせながら考えていきたいと思えます。

それから、でも3,500円で大人気だったんですね。

○江戸川区長 はい、取れないというふうに聞いております。

○知事 ですからそういうことも勘案しながら、プールでそのままいいかどうかというのは、ちょっといろんな観点から検討しなければならないと思います。でも一応御要望ということで、伺ってまいりたいと思えます。

それから葛西海浜公園でありますけれども、本当に先日のラムサール条約1年というこ

とで、イベントもさせていただいておりますが、本当に都心からちょっと離れた所にこのラムサール条約の対象があるというのは、誇らしいことだと思います。それをまた地元の皆様方の御協力によって達成できた、ということかと思えます。

これはまたワイズユースに則っていくということから、自然環境への配慮もしなければなりませんので、カヌー等は環境負荷が少ないと、自然体系に繋がる公園の利用という観点も考えていきたいと、このように思っております。

それから2番目が障害者のスポーツセンターの件でございました。身近な学校での体育施設の活用や体験会を、都として区部とそれから多摩地域、先ほどのお話にあったように2つを確保しているところであります。

それから区市町村に対してのハード、ソフトの両面からの障害者スポーツの場の確保ということで、努めてまいったところでございます。

パラスポーツへの関心を今どうやって高めるかというのも、今回の2020大会の大きな要素でもございますし、障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに楽しんでお互いに理解をするという、そういう共生社会の実現に繋げていきたいという考え方には変わっておりません。

それから都で、育児休業でありますけれども、取得促進に関しては企業の規程整備、中小企業の皆さんが育児休業を取得しやすくなるように、企業の規程整備への支援であるとか、それから長期の育児休業を取得させることに対する奨励金を支給する等、取り組みはもう既にご覧いただけます。

それらをうまく活用させていただいて、ライフワークバランスを推進するためのキャンペーンやイベントも実施をしておりますので、江戸川区様と連携しながら進めていくのではないかなと思います。

もう1点、事業承継、金魚ですけれども、今回15号、19号、21号と続いて、これ一般的に見て、もう農業辞めようかとか、もう事業辞めようかとかっていう方々が、これは金魚の分とは話が違いますけれども、そういうのが台風の足跡としてあるってというのは、とても残念に思うんですね。

金魚も本当に長い間、地場産業としてあったということでございます。

ただ、一方で税制上の取扱いという点で、今以上の軽減措置を金魚の養殖地の固定資産評価額に設けるといことは困難なんですけれども、相続税、贈与税については令和の元年度の税制改正がございました。

これによって事業承継の円滑化ということで、認定を受けて先代の事業者から相続または贈与された事業用の資産を取得した場合には、納税を猶予または免除されるという制度が創設されております。これ結構大きな制度変更だったと思います。

これらを活用していただくことと、それから中小企業振興公社、地域金融機関と協力して巡回相談を実施しておりますので、外部の専門家のアドバイスであるとか、中長期の計画策定を支援することによって、企業の継続を後押ししているというところであります。

課題いろいろあると思いますけれども、引き続き現場のお声を伺わせていただければと

思います。

副知事の方から1点、お答えさせていただきます。

○副知事 若干補足をさせていただきます。施設の空き状況のシステムのお話でございませうけど、全国に1万か所以上の障害者支援施設とか特養があるということで、その全体の状況が各自治体ではなかなか分かりにくいというお話でございました。

東京都でもITの活用というのを最重点施策にしております、5Gの時代に備えていきたいということでございますので、都区一体となって、場合によっては国とも相談しながら、こういった全国の、あるいは都内の情報が一覧できるようなシステムの構築にこれから検討、研究してまいりたいというふうに思っております。

それから動物園のお話でございました。一応あそこにつきましては、東京都地域防災計画におきまして避難場所とか、大規模救出救助活動拠点に指定されておりますので、非常に防災上も重要な公園ということで、ただちに動物園等の大規模な施設をあそこに整備するということは、なかなかちょっと課題が非常に多いというふうに認識しております。

しかしながら水族園や観覧車等や海辺の自然と触れ合えるレクリエーション拠点として、多くの都民に親しまれ、魅力のあるような公園に引き続きするよう、努力してまいりたいとは思っております。以上でございます。

○知事 今、動物園ってどれぐらいの方が入園されているんですか。

○江戸川区長 年間で70万人。区民の数が70万人なので、大体同じぐらいです。

○知事 ポニーランドは別にあるんですか。それとも動物園の中にあるんですか。

○江戸川区長 別にあります。別に2か所あるのですが、そこで引馬で、全部無料なんです。大体7割が区民で3割が区外からという形です。

○知事 今ある動物園の所在地はどこなんですか。

○江戸川区長 葛西臨海公園から数キロ行ったところです。ライオンがいたりとかそういうことはないのですが、子供が親しむような動物がそろっています。

○行政部長 いかがでしょうか。

○知事 なにかほかでも。

○江戸川区長 本当に今回の災害ではお世話になりました。ありがとうございました。私共は避難勧告を43万人に出しまして、3万5,000の方が避難をされました。

ただやっぱり偏りが出まして、一杯になった所、1か所で1,600人来たりとか、別では空いていたりとか。その他ペットの問題とか、いろんな問題が出てきたんですけども、やはり障害を持っている方、あるいは要介護者の避難先ということで、もしよろしければ、これから都立の特別支援学校とかもお貸しいただくことができれば、大変ありがたいと思っています。設備はばっちりだと思っておりますので、なかなか通常の小・中学校ですと、バリアフリーが至らないところがまだまだあるものですから、今後そういったところ、都立高校も含めて、いろいろ相談に乗っていただければありがたいと思っています。

○知事 今回は本当に「荒川は大丈夫か」と、多くの方が思われたぐらいです。そしてまた避難所の確保という点については、今回の様々な例を改めて検証してどのようにしてい

くのか、また皆様方のお声を伺う機会もつくりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

○行政部長 それではそろそろお時間になります。本日の意見交換、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。